

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
医療専門課程	理学療法士学科 (昼間部3年制)	夜・通信	1560 時間	240 時間	
医療専門課程	作業療法士学科 (昼間部3年制)	夜・通信	1365 時間	240 時間	
医療専門課程	視能訓練士学科 (昼間部3年制)	夜・通信	1560 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	診療情報管理士学科 (診療情報管理士コース)	夜・通信	750 時間	240 時間	
	診療情報管理士学科 (医療情報技師コース)	夜・通信	750 時間	320 時間	
	診療情報管理士学科 (視能訓練士学科昼間部1年制内部進学コース)	夜・通信	750 時間	320 時間	
医療専門課程	理学療法士学科 (夜間部4年制)	夜・通信	1320 時間	180 時間	
医療専門課程	作業療法士学科 (夜間部4年制)	夜・通信	1320 時間	180 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

理学療法士学科昼間部
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_04.pdf
作業療法士学科昼間部
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_02.pdf
視能訓練士学科 1 年制
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_06.pdf
視能訓練士学科 3 年制
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_05.pdf
言語聴覚士学科
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_07.pdf
診療穂情報管理士
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_09.pdf
専攻科
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_08.pdf
理学療法士学科夜間部
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_03.pdf
作業療法士学科夜間部
https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/syllabus/jitumu_01.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	該当学科なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/img/2019yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)日本販売企画 代表取締役	2018.6.1 ~ 2021.5.31	適切な情報収集
非常勤	学校法人埼玉福祉学園 理事長	2019.5.27 ~ 2021.5.26	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

1、各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画の作成・公表に係る取組の概要) 滋慶学園のミッションとビジョンに従い滋慶学園の3つのポリシー^{#1}が策定され、そのポリシーを踏まえ大阪医療福祉専門学校の3つのポリシー^{#2}を策定した。そこから更に各学科の3つのポリシー^{#3}を策定し、そのディプロマポリシーを達成すべく策定されたカリキュラムポリシーに従い教科課程^{#4}を作成している。授業計画(シラバス)^{#5}には、科目毎に成績評価方法と基準の記入欄を設け、明記している。 試験規程(成績評価基準)^{#6}は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準についても明記している。
2、授業計画書の公表方法 #1:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/46_misson.pdf #2:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/48_schoolpolicy.pdf #3:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/51_3policy.pdf #4: https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/ #5: https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/ #6:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/56_evaluation.pdf
2、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習意欲に関しては、すぐに学修成果につながるものではないが授業アンケートを下記内容にて実施することにより、学生に意識化させている。 質問1 総合的に見てあなたはこの授業に満足していますか この授業でのあなたの学習への意欲や態度について 学習行動に関するもの 質問2 シラバスをよく読んで授業にのぞみましたか 質問3 この授業でどの程度の成績を目標に履修しましたか 質問4 教員に指示された課題に意欲的に取り組みましたか 質問5 教員に指示された課題について、授業時間以外に週平均的学習時間はどれくらいでしたか 質問6 授業を受けたことで触発され、関連する事項について調べたり、考えたり、勉強したりすることを頻繁にしましたか 質問7 他の学生との協働作業やディスカッション等に積極的に取り組みましたか 質問8 この授業を通して、あなた自身の行動や態度は変化したと思いませんか 試験やレポートに関しては、前述の試験規程^{#6}に則り厳格かつ適正に評価している。卒業論文に関しては、学科毎に実施形態が異なっており、個別で実施する学科もあれば、複数名で実施することも多い。各学科で学内発表を行い、学生や参加教員によるルーブリック評価にて優秀演題を選出し、学校全体の卒業研究発表会を実施している。ここでも外部の審査員による評価を実施し優秀演題から更に表彰演題を決定している。 最終的には、前期判定会議・後期判定会議・卒業判定会議を通して履修の認定を行っている。
3、成績評価において、GPAなどの客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価において、学則^{#7}第3章第10条ならびに試験規程(成績評価基準)^{#6}により客観的な指標を示している。成績の分布状況に関しては、5段階評価の評語を4から0までの点数に置き換える。置き換えた点数をGPとし、履修した科目の単位数を掛け合わせた総和(GPT)を履修科目の各単位数の合計で割り分布状況を把握している。
客観的な指標の算出方法の公表方法 #7:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/5_5_rules.pdf
卒業の認定に関する方針を定め公表するとともに適切に実施していること。
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則^{#7}第3章第10条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議(学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席)を開き、判定している。卒業判定会議は、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
卒業の認定に関する方針の公表方法 #8:https:// www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/04taisyaku.html
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/01shikin.html http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/03jigyoku.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/img/2019jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/06kansa.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法士学科 (昼間部 3 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3360 単位時間	1515 時 間	1035 時 間	810 時間	時間	時間
			3360 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		129 人	0 人	6 人	21 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第2号の3より再掲】 教科課程（理学療法士学科） ^{#9} により、3年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス） ^{#5} により年度毎の詳細な授業方法や内容を示している。 #9: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/12_rikagakuku_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第2号の3より再掲】 試験規程（成績評価基準） ^{#6} は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準（1単位15時間）についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス） ^{#5} により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第2号の3より再掲】 学則 ^{#7} 第3章第10条及び学科細則 ^{#8} によって認定方針を定め公表している。 学則 ^{#7} ならびに学科細則 ^{#8} に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定

会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で2回、学科で3回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート（一般教養）を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。 特に解剖学・運動学・生理学に関しては、重要な基礎科目であるため、担任により習得のサポート授業や補講などの対策を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 (100%)	0 人 (0%)	36 人 (94.7%)	2 人 (5.2%)
（主な就職、業界等） リハビリテーション病院、総合病院、一般病院、クリニック、老人保健施設			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで300施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士（国家資格）			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
129 人	6 人	4.7%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更・心身の不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。この状況を把握することで、早期に担任が変化に気づき中途退学にならないように支援を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	作業療法士学科 (昼間部 3 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3390 単位時間	1275 時 間	750 時間	1365 時 間	時間	時間
			3390 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		132 人	0 人	7 人	17 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第2号の3より再掲】 教科課程（作業療法士学科）^{#10}により、3年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により年度毎の詳細な授業方法や内容を示している。 #10: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/13_sagyou_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第2号の3より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準（1単位15時間）についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第2号の3より再掲】 学則^{#7}第3章第10条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で2回、学科で4回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート(数学教養)を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。 寺子屋方式により、どの科目であってもかまわないので専任教員が質問を受ける環境を作っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (74.4%)	11 人 (25.6%)
（主な就職、業界等） リハビリテーション病院、総合病院、一般病院			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで 300 施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士（国家資格）・福祉住環境コーディネーター2 級			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132 人	7 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 学業不振・学校生活不適合・進路変更・心身の不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。この状況をゼミの担当教員が把握することで、クラス担任と双方からサポートでき、早期に変化に気付くことで中途退学にならないように支援を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	視能訓練士学科 (昼間部 3 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3090 単位時間	1590 時 間	420 時間	1080 時 間	時間	時間
			3090 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105 人		111 人	0 人	6 人	18 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第 2 号の 3 より再掲】 教科課程（視能訓練士学科 昼間部 3 年制）^{#12}により、3 年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により詳細な授業方法や内容を示している。 #12: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/14_shinou3_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第 2 号の 3 より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載し GPA 単位認定基準（1 単位 15 時間）についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第 2 号の 3 より再掲】 学則^{#7}第 3 章第 10 条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で 2 回、学科で 4 回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート（一般教養・漢字・数学Ⅰ）を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるよう支援している。 各授業で行われている小テストのまとめ試験を実施 8 割取れるまで再試験を行っている。1 年次からマイノートという国家試験対策につながるノートをまとめさせている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	32人 (97.0%)	1人 (3.0%)
（主な就職、業界等） 総合病院、眼科専門病院、クリニック			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで300施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 視能訓練士（国家資格）			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	4 人	3.6%
（中途退学の主な理由） 学業不振・学校生活不適合・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイトの時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	診療情報管理士学科 (診療情報管理士コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2730 単位時間	1470 時 間	360 時間	480 時間	時間	時間
			2730 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		19 人	1 人	3 人(※1)	12 人(※2)	15 人(※3)	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第2号の3より再掲】 教科課程（診療情報管理士学科 昼間部3年制）^{#14}により、3年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により詳細な授業方法や内容を示している。 #14: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/17_shinryou_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第2号の3より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準(1単位15時間)についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第2号の3より再掲】 学則^{#7}第3章第10条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で2回、学科で4回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート(一般教養・漢字・時事ワーク・生物A)を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるよう支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (%)	5 人 (83.3%)	1 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） 総合病院、一般病院、薬局			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで 300 施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・医療秘書技能検定・語彙読解力検定			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.2%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイトの時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	診療情報管理士学科 (医療情報技師コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	2790 単位時間	1845 時 間	765 時間	180 時間	時間	時間
			2790 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		21 人	0 人	※1 の内数	※2 の内数	※3 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第2号の3より再掲】 教科課程（診療情報管理士学科 昼間部3年制）^{#14}により、3年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により詳細な授業方法や内容を示している。 #14: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/17_shinryou_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第2号の3より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準(1単位15時間)についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第2号の3より再掲】 学則^{#7}第3章第10条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で2回、学科で4回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート(一般教養・漢字・時事ワーク・生物A)を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	18 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合病院、一般病院、薬局			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで 300 施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・医療秘書技能検定・語彙読解力検定			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	3 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイトの時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	診療情報管理士学科 (視能訓練士学科1年制 内部進学コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	2790 単位時間	1845 時 間	765 時間	180 時間	時間	時間
			2790 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		39 人	0 人	※1 の内数	※2 の内数	※3 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第2号の3より再掲】 教科課程（診療情報管理士学科 昼間部3年制）^{#14}により、3年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により詳細な授業方法や内容を示している。 #14: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/17_shinryou_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第2号の3より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載しGPA単位認定基準(1単位15時間)についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第2号の3より再掲】 学則^{#7}第3章第10条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で2回、学科で4回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート(一般教養・漢字・時事ワーク・生物A)を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	11 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合病院、一般病院、薬局			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで 300 施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・医療秘書技能検定・語彙読解力検定			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	2 人	5.1%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイトの時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法士学科 (夜間部 4 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	夜	3060 単位時間	1455 時 間	795 時 間	810 時間	時間	時間
			3060 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		176 人	0 人	6 人	16 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第 2 号の 3 より再掲】 教科課程（理学療法士学科）^{#9}により、4 年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により年度毎の詳細な授業方法や内容を示している。 #9:https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/l2_rikagakuku_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第 2 号の 3 より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載し GPA 単位認定基準（1 単位 15 時間）についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第 2 号の 3 より再掲】 学則^{#7}第 3 章第 10 条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で 2 回、学科で 3 回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート（一般教養）を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。 特に解剖学・運動学・生理学に関しては、重要な基礎科目であるため、担任により習得のサポート授業や補講などの対策を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 (100%)	0 人 (0%)	35 人 (83.3%)	7 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） リハビリテーション病院、総合病院、一般病院、老人保健施設、クリニック、訪問看護ステーション			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで300施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士（国家資格）			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
176 人	8 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 学業不振・進路変更・経済面・家庭問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。この状況を把握することで、早期に担任が変化に気付き中途退学にならないように支援を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	作業療法士学科 (夜間部 4 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	夜	3045 単位時間	1215 時 間	555 時 間	1275 時 間	時間	時間
			3045 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		173 人	0 人	7 人	17 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【様式第 2 号の 3 より再掲】 教科課程（作業療法士学科）^{#10}により、4 年間の授業計画を示し、授業計画（シラバス）^{#5}により年度毎の詳細な授業方法や内容を示している。 #10: https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/13_sagyou_katei.pdf
成績評価の基準・方法
【様式第 2 号の 3 より再掲】 試験規程（成績評価基準）^{#6}は、学生便覧に記載し GPA 単位認定基準（1 単位 15 時間）についても明記している。各科目においては、授業計画（シラバス）^{#5}により成績評価の方法についても示している。
卒業・進級の認定基準
【様式第 2 号の 3 より再掲】 学則^{#7}第 3 章第 10 条及び学科細則^{#8}によって認定方針を定め公表している。 学則^{#7}ならびに学科細則^{#8}に定められた基準に到達しているかに関して、卒業判定会議及び進級判定会議（学校長・事務局次長・運営教務部長・学術教務部長・教務課長・学科長出席）を開き、判定している。両会議ともに、議事録を作成し保管しており、いつでも公表できる状態である。
学修支援等
入学前には、プレカレッジを学校全体で 2 回、学科で 4 回実施している。通信添削課題として学習トレーニングシート（一般教養）を実施している。 入学後は、ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるよう支援している。 木曜日の夕方には、寺子屋という場を開き、どの科目であってもかまわないので専任教員が質問を受ける環境を作っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (65.9%)	14 人 (34.1%)
（主な就職、業界等） リハビリテーション病院、総合病院、一般病院、老人保健施設、クリニック			
（就職指導内容） 就職虎の巻 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/62_jobhunting.pdf を作成し、SPI 試験の対策や、模擬面接、履歴書の記載指導、マナー研修、メイク研修を実施している。 1 年生から就職フェア（大阪城ホールで 300 施設以上参加の説明会）に参加し、施設の方々から生の情報収集などを行う。事前にジョブカードを用い施設の下調べをした上で質問項目をリストアップしておく。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士（国家資格）・福祉住環境コーディネーター2 級			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
173 人	6 人	2.9%
（中途退学の主な理由） 学業不振・心身の不調・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ポートフォリオとして週間行動計画書の提出により、食事・睡眠・勉強時間・アルバイト時間等を共有し生活習慣の安定と自己学習時間の確保につながるように支援している。この状況をゼミの担当教員が把握することで、クラス担任と双方からサポートでき、早期に変化に気付くことで中途退学にならないように支援を行う。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理学療法士学科 (昼間部 3 年制)	300,000 円	1,000,000 円	480,000 円	
作業療法士学科 (昼間部 3 年制)	300,000 円	1,000,000 円	480,000 円	
視能訓練士学科 (昼間部 3 年制)	300,000 円	900,000 円	380,000 円	
診療情報管理士学科 診療情報管理士コース	100,000 円	1,000,000 円	130,000 円	
診療情報管理士学科 医療情報技師コース	100,000 円	1,000,000 円	130,000 円	4 年次授業料 別途 550,000 円
診療情報管理士学科 視能訓練士学科(昼間部 1 年制) 内部進学コース	100,000 円	1,000,000 円	130,000 円	4 年次授業料 別途 1,100,000 円
理学療法士学科 (夜間部 4 年制)	200,000 円	700,000 円	270,000 円	
作業療法士学科 (夜間部 4 年制)	200,000 円	700,000 円	270,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/19_jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制含む）
<u>I. 基本方針</u> 学校評価を活用した専修学校教育の質の保証・向上を目指すことを目的に病院等と連携し質の保証・向上に対してより効果的な先進的取組の推進を目指す。 <u>II. 計画と方法</u> ・自己点検・評価委員会を設置し、各項目の設定、実施、報告を行う。 ・学校関係者評価委員会を年1回実施し、自己点検・評価結果を客観的に確認評価し、次年度の重点目標を設定する。 ・教育課程編成委員会を年2回、学科ごとの委員会を年2回実施し、病院・施設と組織的な連携を確保し、授業科目等教育課程を編成する。 ・学校概要・理念・目標・教育内容・学生支援等及び財務内容等、積極的な情報公開を実行する。 「具体的取組み」 ・病院等と連携体制を確保して、実習等を実施する。 (病院等との連携による達成度評価を取り入れた実習等) ・病院等と連携体制を確保して、教員に対する研修を組織的に実施する。 (病院等との連携による体系的な研修の構築) <u>III. 2019年度重点目標と計画・方法</u> ① 学生募集目標の達成（2019年度目標：310名） マーケット別広報、2年生対象の早期広報等改善を図り募集目標310名を達成する。 「こどもリハビリ支援専攻科」を2020年度に開設するための準備をおこなう。当年度募集目標の達成はもちろん、将来を見据えた信頼広報を展開する。 特に卒業生、法人会員対象の業界推薦入試を実施し、なお一層の業界との連携を図っていく。 ② 退学率の低減を図る。（2019年度目標：4.0%未満） 3つのポリシーに基づいたカリキュラムを提示し、入学前からしっかりとした目標をもつことで退学の防止をはかる。 そのためには体験入学時に卒業後の成長が感じられるような具体的な目標を示していく。「資格をとって将来どうなりたいのか」を一緒に考えていくような体験入学としていく。また入学予定者に対し入学前から段階的に「学びながら」入学するというシステムである全学プレカレッジ、学科プレカレッジを更に深い学びができるような内容にしていく。統計によると1年終了時の成績が卒業成績との関連性が認められている。1年次に実践的な授業や学内実習を多くとり入れ、「学びの楽しさ」を学生が実感することで自分の将来像を描けるようにすることで退学を防止していく。 ③ 学費完納率目標達成（2019年度目標：100%） 学費支援体制を強化し、個別対応の徹底を図り、全学生の学費納入を達成し、財務基盤の安定を図る。 月一度学校責任者と学費担当者の学費ミーティングを実施し、現状確認と対策を検討していく。 学生が学費の相談をしやすいうように、学費相談BOXを設置する。

④ 国家試験取得率の一層の向上を図る（全学科100%）

教員の国家試験対策力をつけるために卒業試験の作問およびブラッシュアップを強化する。また、国家試験対策授業では、能力別個別対応の徹底を図っていく。国家試験センターと連携しJWEB（学園所有のweb学習システム）を利用し、通学中でも課題に取り組むことができ切れ目の無い対策を行う。

1年次から国家試験に向かうメンタルの強さを育んでいく。

既卒者対策：学習場所を確保し来校しやすい学習環境状況を確保する。既卒者対策担当教員を設置し、次年度の国家試験合格を目指す。

⑤ 就職目標達成（2019年度目標：100%）

開校以来、第一専門領域への就職100%を達成している。

新規求人先開拓を実行し、求人件数増加を図り目標を達成する。

国家試験終了後に就職活動が始める学生がみられる。国家試験合格を早期に見込めるよう教務とキャリアセンターが協力しながら就職支援を行う。

⑥ 教職員の更なる資質の向上を目指す。業界との一層の連携強化を図る。

ワークライフバランスを遂行し教職員一人一人が学ぶ時間を持てるよう更に推進する。教職員のキャリアアップを支援していく。そのためにはまず教職員が「ワークライフバランス」を実践できるよう、支援していく。

⑦ 業務効率化を図る情報システム化を一層整備する。

SHIP（学生カルテシステム）やスケジュール管理のためサイボウズを導入し、単純作業を外部委託することで、業務効率化をはかり優先順位をつけて仕事に取り組む。

会議をペーパーレスで行い、業務の簡略化とコストダウンを図る。チームリーダーを中心に業務の属人化をやめチームで成果をあげていく。

⑧ 学生による授業評価の徹底を図る。

滋慶学園FD委員会、大阪医療福祉専門学校FD委員会で統一的に実施し、現状分析することにより、学生の満足度を高めるとともに、公開授業による専任教員の教育力・教授力向上を目指す。教職員は、アクティブラーニングを取り入れていき、学生には主体的な学びの習慣が根付くように事前課題や宿題の提供を促進するようなシラバスに変更した。

授業アンケートの内容も、主体的な取組に焦点を当てた内容に変更し、年度末のアンケートに頼るだけでなく授業ごとにJクリッカー(学園所有web学習システム)で、その場で分からないことをなくす努力を行う。

⑨ 卒業生の社会的活躍及び評価を把握するとともに、支援体制を強化する。

同窓会において、役員主導の運営による組織の確立を充実させ、表彰ポイント制度の導入により、役員としての運営貢献度、学術活動、社会貢献活動等を表彰し、より一層の活性化を図っていく。

全学同総会・学科勉強会への参加を促し、各職能団体での卒業生の学会発表についても協力していく。

⑩ 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通り実行する。

開校18年目となり、大規模な施設更新が必要となる。業者との連携を密に予算化を図り、効率的に実行していく。また備品に関しても、整備点検を密に適切なメンテナンスを行う必要がある。必要な備品については購入していく。（2018～2020年の3ヵ年かけて全館の空調を取り替える。）

- ⑪ インフルエンザ・ノロウイルスなど感染対策を徹底する。
 プログレスウオーター、ウエルパスを各階、エントランス、トイレに配置。毎日の見回りでプログレスウオーター、ウエルパスの残量をチェックしていく。
 各教室にはプラズマクラスターの空気清浄機を 11 月から 2 月まで配置する。11 月、12 月にはインフルエンザワクチン接種を推奨する。
 卒業研究発表会など学校行事ではマスクを全員に配布し出入り口にプログレスウオーター、ウエルパスを配置する。
- ⑫ 防災に対する体制を整備する。
 有事の際の緊急連絡網の整備等は充実しているが、休日対応・夜間対応等様々なケースを想定した対応をマニュアル化する。
 防災訓練については、火災避難訓練（6 月 21 日）、地震避難訓練（10 月 28 日）を別途に行い、また防災週間を設定している。現実的な避難訓練を実施するとともに A E D 講習（8 月 19 日）も予定している。
 防災セット 700 名分備蓄済み。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
大阪医療福祉専門学校 橋本 勝信	2 年	常務理事 学校長
大阪医療福祉専門学校 赤松 滋子	2 年	事務局次長
大阪医療福祉専門学校 岸村 厚志	2 年	教務部長
大阪医療福祉専門学校 鈴木 操	2 年	教務部長
大阪医療福祉専門学校 平木 たい子	2 年	視能訓練士学科 グループリーダー
大阪医療福祉専門学校 林 亜遊	2 年	教務課長
大阪府理学療法士会 日本理学療法士協会 大阪府理学療法士連盟 三原 修	2 年	常務理事 代議員 副会長 (業界代表)
日本診療情報管理士会 勝元 伸二	2 年	評議員 (業界代表)
大阪府 眼科医会 湖崎 淳	2 年	理事 (業界代表)
南草津病院 段上 靖治	2 年	理学療法士 (卒業生代表) (理学療法士学科 3 期生)
大阪府立茨木西高等学校 中山 哲也	2 年	学校長 (高校関係者代表)
島袋 美紀	2 年	(保護者代表) 作業療法士学科夜間部 3 年 島袋美鈴さん 保護者
法務省淀川地区保護司会 田中 幸恵	2 年	保護司 (近隣関係者代表)

学校関係者評価結果の公表方法
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.ocmw.ac.jp/_common/img/gakkou/johokoukai/21_h29gakoukankeisyahyouka.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 https://www.ocmw.ac.jp/
